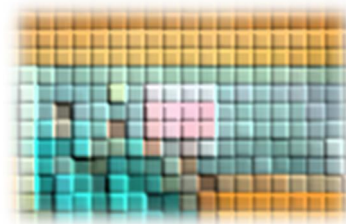


中郷中学校だより



躍進

<https://www.nakago-jjorne.ed.jp/>



合唱祭前日の様子

発行 令和6年11月20日

なんのために勉強するの？

校長 山岸 賢一

「自分の好きな勉強を見つけて、みんなが自分の能力に最大限挑戦することで人類が生き延びられる可能性を広げるため」

これは、宇宙飛行士で科学者の毛利 衛さんが、『宇宙の地球人としての私たち』と題した講演会で話された結論です。

10月の職場体験前、私は2年生に次のような課題を出しました。「なんのために働くのか」、「なぜ、今は勉強するのか」2年生の皆さん、答えは見つかりましたか？

毛利さんは講演会の中でこんな話をしていました。



科学技術の発展により 20 世紀、宇宙から地球がみられるようになった。21 世紀、生命のもと、気候変化を予測できるようになった。その結果、地球に存在する生命は全てがつながっていることが分かった。同時に地球における人類発展の限界も見えてきた。地球に住む私たちが生き延びるためにどうしたらいいのだろう。メジャーリーガーの大谷選手が活躍するとなぜ嬉しいのか。ノーベル賞を取る、世界新記録を出す、体育祭や合唱祭、部活で活躍する、テストでいい成績をとる、基本的にはこれらと同じく、挑戦と全体とのつながりがあるからだ。だから、自分の能力に挑戦し、自分と多くの人々を嬉しくさせると持続可能な社会に貢献できる。

このことを踏まえ、毛利さんは小学校、中学校での勉強は、「大人になったときに社会で自分が生きていけるために必要な誰もが身に付ける勉強」。高校、大学での勉強は、「自分の得意なことを探し深めること。大人になって働くときに自分ならではの社会に必要とされることを身に付ける勉強」。そして社会に出ると、「さらにもっと大きな勉強がある。誰もが一生懸命、人類が未来へ生き延びるための勉強、みんなのために役立つ楽しい勉強がある」と話されていました。

勉強は一生懸命続くのです。さて、あなたは将来「なんのために働きますか？」、そして今は「なんのために、勉強をしますか？」

サロンに笑顔をお届け！・・・



1年生は、10月21日（月）に中郷区の3か所のサロンを訪問し、自分たちが企画したレクリエーションを参加者と一緒に楽しむことができました。

生徒達は活動中、優しい表情で参加者に接し、充実したひと時を過ごすことができました。

前回の訪問後から準備を進め、それぞれのサロンで一緒に楽しく活動し、参加した方々に清々しい笑顔をお届けすることができました。



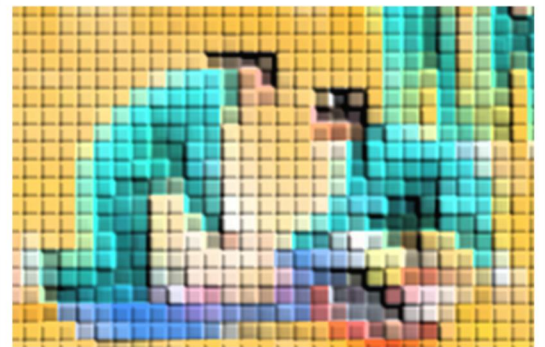
緊急時に備えて自分ができること！



2年生は、11月1日（金）救急法講習会を実施しました。新井消防署から講師をお招きし、緊急時の対応の仕方や心肺蘇生法、AEDの操作方法について学習しました。

生徒達は、真剣な態度で説明を聞き、仲間と協力しながら機器の操作実習を行っていました。

もしもの時に備えて自分の命と同様に、周りの人々の命も大切にすることの大切さを学びました。

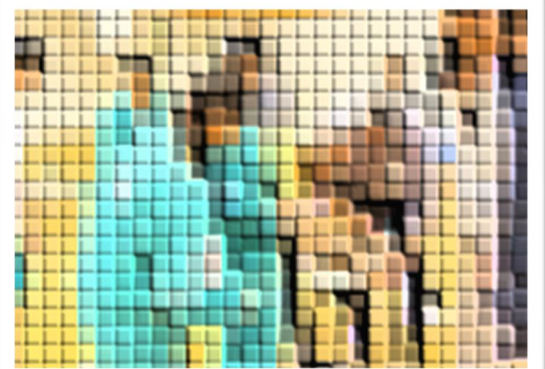


どうする？避難所でのトイレ問題！

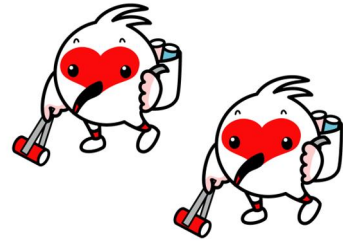


中越地震から20年の時が経過した10月23日3年生は、中郷区旧岡沢小学校で、避難所訓練に参加してきました。今回の訓練は、町内会と合同で炊き出し訓練や避難所運営ゲームなどを行いました。

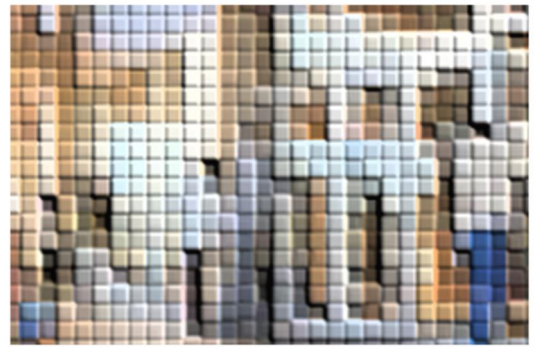
特に今年は、避難所でのトイレ問題について、その対応と一緒に考えることができました。もしも中郷区で災害が発生し、避難所での生活が余儀なくされたとき、中学生として何ができ、どのような行動をとるべきか、深く考えるきっかけとなりました。



各教室の床がピカピカ



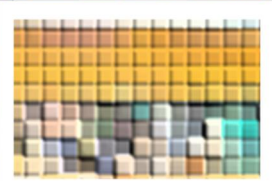
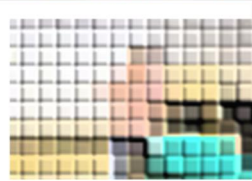
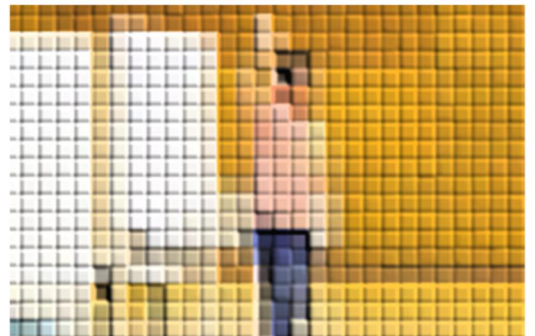
11月9日（土）、PTAの地域環境整備部の活動で、保護者25名の皆様からお手伝いいただき、各教室のワックス掛けや窓ガラス拭き、トイレの清掃を行いました。また、前日8日（金）には、ワックス掛けに先立って校内整備作業を全校生徒で行いました。教室の机や椅子の搬出や日頃手の届かないところを重点的にきれいにしました。その後のワックス掛けのおかげで、床もピカピカになり、校舎は一段と輝いて見えました。ご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



差別について考える！



10月28日（月）小学校5・6年生及び中学生を対象に部落問題学習会が行われました。講師は徳島県＜絆創膏の会＞より、大湾 昇様をお招きし、講話をしていただきました。自ら描いたマンガを使った心理テストやユニークな講話は、生徒の心の中に潜む人権課題を浮き彫りにし、これまで学習してきた部落差別について、実感を伴った憤りの気持ちをもたせることができました。また、差別社会を無くし、皆が幸せになるためには、相手に寄り添った言葉かけの積み重ねがとても大切だということを学習しました。



輝く成果

～新潟県駅伝大会結果～

男子＜4位＞

女子＜13位＞

